

法政大学教職課程センター 多摩だより

★第 70 号★ 2025 年 1 月 9 日 発行
法政大学教職課程センター多摩相談室
総合棟 1F・食堂横ガラス張り奥の部屋
(月～金) 10:00～18:00

相談員在室日：月・火・水

☆「合格者の話を聞く会」

(2024 年 12 月 11 日(水)開催)報告 ☆

12 月 11 日(水)に「合格者の話を聞く会」が開催されました。
合格された方々、そして参加された方々、ありがとうございました☆
ここでは当日参加された学生の皆さんからの感想やコメントをご紹介します。

※ 私はまだ教師になるのか民間に就職するのか迷っているが、今日の合格者の話を聞いて、教員採用試験までの見通しを持つことができた。私の地元でも 3 年次チャレンジ選考があるので、実際に 3 年次採用試験で合格された方の話を聞いて、自分も受けてみようかなと感じた。教員採用試験はまだ先の話だと思っていたが、自治体によって内容・試験傾向が全く違い、早く始めた方が良いということがわかったので、比較的時間に余裕のある今のうちから少しずつ始めていきたいと思った。

※ 合格者の話を聞く会に参加して、教員採用試験に対してのイメージを持つことができた。特に、対策の面でどのように勉強すべきかや面接対策、小論文対策の具体的なやり方を学ぶことができて良かった。合格者の方のお話の中で、教員採用試験に合格することがゴールではなく、教員になってからどのような教員になって、何をしていきたいのかを考えることの方が大事というお話がとても心に残って、今の自分は教員採用試験しか頭になかったし、周りに流されて遊んでばっかな状況である為、今一度何で自分が教員になりたいのかを考えさせられるきっかけになった。

※ 本日も話を聞いて、小論文を書いているも今の中学校の現状がわからないと思い、書きづらいことが多かったので、今の中学校の現状を知るためにも今後行く実習やその他の方法で知っていけるように動いてみようと思いました。そして、実習を通じて学ぶことが多いという話でしたので、実習中に学びたいことなどを整理して実習に取り組み、学びたいと思いました。勉強面については、私も合格者の方と同じように解くことで頭に入ってくるタイプなので、勉強のやり方を真似させていただきたいと思いました。面接については今対策講座がはじまったばかりでまだうまく自己の理解が足りていないので、今後深めていこうという気持ちになりました。

※ 私の実習先も 6 月頃なので、教員採用試験の勉強が出来ず、不安になりそうだ、、、と思いました。教育実習は先生になるための勉強だと思って、やる。また教育実習で勉強できないことを見越して、勉強しようと思いました。

※ 結論として、一歩踏み出そう思うことができた。教員採用試験に対して、自分は深く考えすぎていたことに気づき、少しずつで良いからやってみることが大切で、やるべきことを繰り返す、継続するということをした人が受かるのかなと考えることができた。必ず教採に現役合格してやろうという気持ちだけ先走っていると思うので、ちゃんと自己分析をして自己理解を深めることもモチベーションアップにつながると思った。実際に合格した本人に直接お話を聞くことができた今回はとても貴重になったと思う。利用できるものを利用しながら、自分だけでやろうとせず段階を踏んでいこうと思った。そして、合格したその先を見据えていこうと考えた。

※自分も3年次に筆記試験を受験し色々苦労した部分があったので、共感できる部分があり、懐かしさを感じた。自分は来年面接を控えていて今何もしないで、今日聞いた話を活かしてどんどん対策をしていかないといけないなと思った。合格者の方の「自分は、大学はもちろん楽しいけど、教師として働くことにワクワクしている」という言葉が心に残っていて、自分もそうだなと改めて感じたので、頑張らないといけないなと思った。今日改めて自分が教師になりたいなと思ったので、それに向かって努力していきたい。

※自分の今の目標を一年早く達成した先輩方の話を聞くことができ、とても参考になりましたし、刺激になりました。質問、意見交流の時間もあり、自分たちの不安や疑問について、合格者の先輩が親身になって応答してくださったおかげで、自分が何をすべきか分かったり、どのように取り組むことができると良かったりするのを知ることができ、貴重な時間となりました。ありがとうございました。

《変わり目はチャンス！》

【相談指導員 川嶋 克弘】

年が明け、2025年を迎えました。年末年始を含む冬休みが終わると多くの学校で三学期が始まります。この学期の変わり目は、これまでを振り返り、これからを考える良い機会になります。

次に紹介する文は、中学校三年生が二学期の終わりに「二学期を振り返って/冬休みの過ごし方/三学期に向けて」という課題で書いたものです。

私は2学期を振り返って、いろいろと成長できたと思う。1つ目は家庭学習だ。勉強の量を増やすことも大事だけど、今学期は勉強の効率を考えて勉強することができた。これからはテスト勉強がもうないので、受験勉強に集中していきたい。2つ目は授業だ。1学期は寝てしまうことがたまにあったが、2学期は眠くなることはあっても、寝ることがなくなったので良かった。

冬休みが始まったら、1日平均9時間勉強できるように頑張りたい。また、勉強だけでなく、家族との時間や友達との時間も大切にしていきたい。冬休みが終わったらすぐ受験なので、勉強ももちろんだが、作文・小論文の練習や面接の練習も万全にしたい。

2学期は勉強や授業だけでなく、音楽祭でもいろいろなことを学べた。学んだおかげで自分にとっては初めての金賞をとることができたので、本当に嬉しかった。3学期も大きな行事だけでなく、何事にも積極的に頑張りたい。

充実した二学期を過ごし、三学期や高校受験に向けて意欲が感じられますね。おとなしく、目立たない生徒でしたが、この間成績を一気に伸ばし、その後公立高校に推薦で合格することができました。

さて、来年度の教員採用試験に向けて勉強している皆さんの中にも、この冬休みは高校受験や大学受験以上の「勉強漬け」の日々だったという人もいることでしょう。「変わり目」は自分を変えるチャンス、成長するチャンスです。

☆教職課程センター多摩相談室では下記自治体の過去問を揃えています☆

◆東京都 ◆神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市 ◆千葉県・千葉市
◆埼玉県・さいたま市 ◆山梨県 ◆静岡県・静岡市・浜松市 ◆茨城県
◆群馬県 ◆栃木県 ◆長野県

【相談指導員在室日】

各日 10時～18時

◆柳原先生：月・水
◆川嶋先生：火

☆教職課程センターHP：https://www.hosei.ac.jp/kyoushoku_katei/

☆（多摩）教職・資格まとめHP：<https://www.hosei.ac.jp/tama/important/article-20240216113652/>

◎教職相談の申し込み、質問はこちらへ

（窓口へ来室、もしくはメールにて事前申し込み）

メールは、公的な依頼文にふさわしい文体・体裁を考え、かつ以下の内容を必ず盛り込むようにして下さい。

①氏名 ②学部・学科 ③学年 ④学生証番号 ⑤面談希望時間（第3希望まで） ⑥相談内容

⑦メールアドレス（PCから受信可能なもの）を必ず記入してください。

*宛先：kyoshokutama1@ml.hosei.ac.jp

※教職履修・単位に関わる質問は、
所属学部窓口へお願いいたします。